

城崎国際アートセンター＋ 豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-＋日本・モンゴル民族博物館 共同企画展「ISDRS! 磯人麗水」

3月から4月にかけて開催する、城崎国際アートセンターと豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-、日本・モンゴル民族博物館の3施設による共同企画展についてお知らせする。

1 城崎国際アートセンター＋豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-＋日本・モンゴル民族博物館 共同企画展「ISDRS! 磯人麗水」

(1) 内容・特色

ア 舞台芸術を中心とした芸術活動のためのアーティスト・イン・レジデンス施設城崎国際アートセンターと、本市出身の洋画家・伊藤清永の作品を収蔵・展示する豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-、モンゴルの民族資料を中心に収蔵・展示する日本・モンゴル民族博物館の市立文化施設3館による初めての共同企画展覧会である。

イ 美術館が所蔵する同氏の代表作「磯人」(1936年)、博物館が所蔵するモンゴルの資料など、市の文化資源を活用した新作インスタレーション※¹が展示される。

※1 インスタレーション

1970年代以降一般化した、絵画・彫刻・映像・写真などと並ぶ現代美術における表現手法・ジャンルの一つ。ある特定の室内や屋外などにオブジェや装置を置いて、作家の意向に沿って空間を構成し変化・異化させ、場所や空間全体を作品として体験させる芸術。

ウ 城崎国際アートセンターの滞在アーティストである、現代美術作家・田村友一郎、音響作家・荒木優光、映像作家・西野正将らが参加し、架空のサイエンス・フィクション(SF)の設定のもと、共同創作する。

エ 気候変動や天変地異のような何らかの理由によって生物が住むことができなくなってしまった未来の地球を想定して創作した作品群(音、映像、彫刻作品など)を、現実の美術館や喫茶店等の実際の場所に設置する。

オ 本市在住の漫画家・ひうらさとるがイラストレーションで、本市出身のものまねタレント・ミラクルひかるが映像出演で参加する。



左：荒木優光、右：田村友一郎／
元喫茶「麗水」(城崎町上山)



「磯人」のポストカード 撮影：田村友一郎

(2) スタッフ

ア 出展作家

伊藤清永(洋画家)、ひうらさとる(漫画家)、ミラクルひかる (タレント)、クリストフ・シャルル(サウンドアーティスト)、荒木優光(音響作家)、今西仙照(造形作家)、カラマリ・インク(デザイン)、田村友一郎(現代美術作家)、堤拓也(キュレーター)、西野正将(映像作家)、松見拓也(写真家)

イ 企画

吉田雄一郎 (城崎国際アートセンター)

ウ 制作アシスタント

中島明日香

2 滞在制作

(1) 期間

2020 年 3 月 11 日 (水) ～22 日 (日)

(2) 場所

城崎国際アートセンター

3 展覧会

(1) 会期

2020 年 3 月 20 日 (金) ～ 4 月 19 日 (日)

※ 水曜日休館

(2) 会場

豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-

(3) 開館時間

午前 9 時 30 分 ～午後 5 時 (※ 最終入館午後 4 時 30 分)

(4) チケット

ア 料金

(ア) 一般

300 円

(イ) 高校生以下

無料

(ウ) 障害者手帳をお持ちの方

150 円

イ チケット販売窓口

豊岡市立美術館-伊藤清永記念館- (※ 申込不要)

(5) オープニングイベント

ア タイトル

オープニングシンポジウム「グローバル時代における地域文化資源の活用」(仮)

イ 日時

2020 年 3 月 20 日 (金) 午後 2 時 ～ 4 時

ウ 会場

豊岡市立美術館-伊藤清永記念館- (※申込不要)

エ 登壇者

(ア) 田村友一郎 (本展出展作家)

(イ) 堤拓也 (本展キュレーター)

(ウ) 吉田雄一郎 (城崎国際アートセンター・プログラムディレクター)

その他、豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-、日本・モンゴル民族博物館の学芸員が登壇する。

オ 料金

無料

※ 展覧会オープニングは入館料も無料

(6) その他

ア 元喫茶麗水で特設展示(観覧無料)を開催する。

イ 展覧会開始にあわせて特設ウェブサイトを開設する。

※ 3 月 20 日に <http://kiac.jp/kiac.jp> で公開予定

4 主催等

(1) 主催・製作

城崎国際アートセンター (豊岡市)

(2) 共催

豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-、日本・モンゴル民族博物館

(3) 助成

2019 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

〈プロフィール〉

1 田村友一郎

アーティスト。1977年富山県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。東京藝術大学大学院映像研究科博士後期課程修了。ベルリン芸術大学空間実験研究所在籍(2013-2014)。現在、熱海市および京都市を拠点に活動。国内外で多数展覧会を実施。

2 荒木優光

音響作家、音楽家。1981年山形県生まれ。京都在住。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科卒。音楽を起点として身の回りにある事物や記録を組み合わせた音場空間を構築する。

3 西野正将

美術家・映像作家。1982年大分県出身。2006年東京芸術大学美術研究科修了。在学中からアーティストとしての活動を開始し、現在まで国内のギャラリーや美術館での展覧会に多数参加。崎陽軒と赤レンガ倉庫のコラボダンス PV「LinK 110th」のディレクションを務めるなど、文化芸術から広告、撮影からディレクションと幅広く活動している。

〔問合せ〕 豊岡市環境経済部大交流課 TEL 0796-21-9016

事業内容については

城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888